修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8―7（順ビル）
電話　(262)2426・2932
振替　(東京)36337

組織あげ実態調査

三地区修旅連絡協開く

第六回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会は六月十三日午後二時半から、栃木県藤原町きぬ川館本店会議室で開催した。久保田八郎会長は「全修協山本理事長のお世話でこの会が発足いらい三年間、輸送力の確保運賃料金の減免、要保護進要保護生徒児童補助増額運動などに、三地区の力を合わせて、大きい所果をあげてきた。舎日中にも修学旅行問題をより重視し、組織的に改善対策にあたるよう要請している。今後、義務教育学校児童生徒の修学旅行費の大幅公費負担運動を新しい方がたによって強力に進めてほしい」と述べ、また、顧問山本種一氏（全修協理事長）は「三年間、真剣に修学旅行の改善にとり組み生徒たちのいのちを守り、心を育ててこられた各県代表の方がたに敬意を表する。修学旅行の安全性、教育性、経済性は最も本質的で重要な要素であるが、現在の姿がどうなっているか、実態把握が必要であり、そのためには組織的な力の結集が必要である。久保田会長はじめ有力なメンバーの方がたが現職を離れるとともに、本会も新しい方がたと交替されるが、今後とも本会のためご尽力を願いたい」と挨拶した。

役員改選に入り、各県代表による選考委員会をひらき、新役員は次の通り決定した。（敬称略）

会長＝中山正秋（愛知県中学校長会長、名古屋市立北山中学校長）副会長＝佐藤武男（茨城県中学校長会長、水戸市立第二中学校長）同＝北牧一雄（大阪府中学校長会副会長、枚方市立枚方第一中学校長）

協議に入り、新会長が議長席につき全体テーマとして「確固たる教育理論に立つ望ましい修学旅行のあり方を求めて」を承認し、各議題を討議した。

昭和四十九年度活動の目標と計画については、三地区における研究の交流と協力によって研究活動の推進をはかり、また、物価高に対処して修学旅行費の推移調査、安全対策のための事故調査などの諸調査を行なうことにした。

修学旅行費父兄負担軽減の諸運動、輸送力増強の継続運動を強力に推進することなどについて熱心な検討を行ない、午後四時会議を終了した。出席者は次のとおり。（順不同・敬称略）

【関東】伊藤守、椛田勝次、高田福松、介川容介【東海】中山正秋、横山正、藤田正三、安川武男【近畿】北牧一雄、弓削輝一、斎藤武人、久保田八郎【顧問】山本種一、白滝末紀【事務局】岩崎武夫。

新委員の顔ぶれ……本年度の近修委

【関西支局】本年度の近畿修学旅行委員会の委員の顔ぶれは次の通り。（敬称略・順不同）

【大阪】
粕本典男＝委員長（大阪市立西中学校長）北牧一雄＝副委員長（枚方市立第一中学校長）

【京都】
楓三郎＝副委員長（京都市立洛南中学校長）弓削輝一（長岡京市立長岡第二中学校長）

【兵庫】
島津富治＝副委員長（神戸市立本山中学校長）斎藤武人（西宮市立上ケ原中学校長）

【奈良】
中村勝海（大和高田市立片塩中学校長）堀川武史（生駒郡斑鳩中学校長）

【滋賀】
国島恵瑞（坂田郡米原中学校長）今居利之助（犬上郡甲良中学校長）

【和歌山】
玉置修己（和歌山市立城東中学校長）永栄啓利（那賀郡粉河中学校長）

中学生一万百円に

小学生は三千四百円

本年度

要保護の修旅補助金

全修協が運動の一環として増額を要望していた本年度の要保護・準要保護家庭とへき地学校の児童生徒に対する修学旅行費補助金がそれぞれ本決りとなった。

要保護・準要保護児童生徒の修学旅行費補助は小学生三千四百円、中学生一万百円で、昨年度より小学生が三百円、中学生千二百円の増額。対象人員は小学生十万二千八百九十七人、中学生九万八千人。また校外活動費は小学生百四十円、中学生一百五十円で、昨年より小学生二十円、中学生四十円ふえた。小学生四十六万九千二百十人、中学生一千一万三千七百三十人が対象。総額では七億三千八百四十八万円で、修学旅行五千三百八十九万円、校外活動八百四十五万四千円の計六千二百三十四万四千円の増額となった。

しかし概算要求の修学旅行費へき地も同額

小学生小学生三千六百円、中学生一万二百円、また校外活動費の小学生一百三千円、中学生三百九十円は査定の大詰めで認められなかった。補助率は二分の一。

また昨年度から実施されたへき地（三～五級）の修学旅行費補助金は小中とも要保護と同額とし、対象人員は小学生一万二千三百九十七人。中学生一万三千九十四人。その予算額一億一千六百十五万円も昨年と同じ。概算要求より百四十七万五千円少ないため、単価の上昇分は小学生千五百四十五人、中学生千七百六十五人を減らして調整した。補助率は三分の二となっている。

本年度はいずれも当初の概算要求額を下回わったが、これは中教審答申による教育改革三年目に当るため文部省内各部局の要求が多く、修学旅行関係が影響をうけたものとみられる。

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。

（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

大和路を語る会……秋田、山形、福島で

奈良県と関係市町村主催、全修協などの後援による本年の「修学旅行のための大和路を語る会」は六月十八日秋田市の県産業会館、同十九日山形市の県労働福祉センター、同二十一日福島市ダイヤモンド会館に県教委や高校長、修旅担当教諭が出席して開催、質疑応答のほか古文化財の映画も上映された。

お知らせ

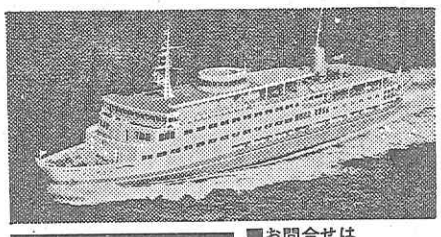
修学旅行新聞では関西、東海両支局につづいて六月一日から関東支局を設置、取材報道の完璧化を図ることになりました。ご期待ください。

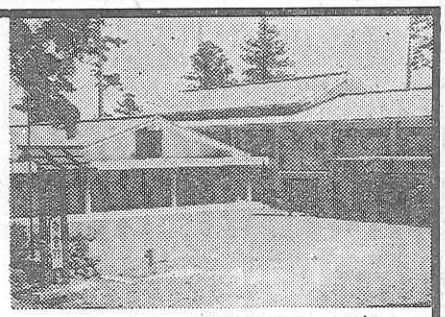
六月一日
財団法人
全国修学旅行研究協会
記
関東支局（岩崎武夫支局長）
東京都千代田区西神田二―八―七、全修協本部事務局内、電話262―二九三二

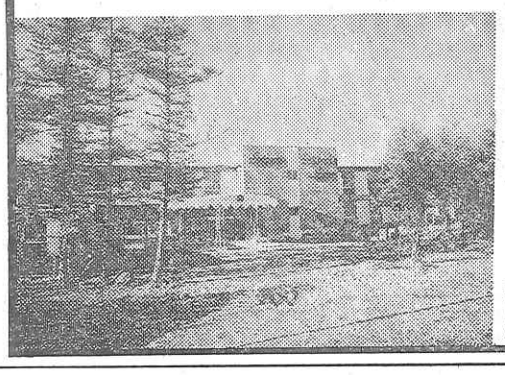
日本の旅　世界の旅
電算機がお手伝いする
ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

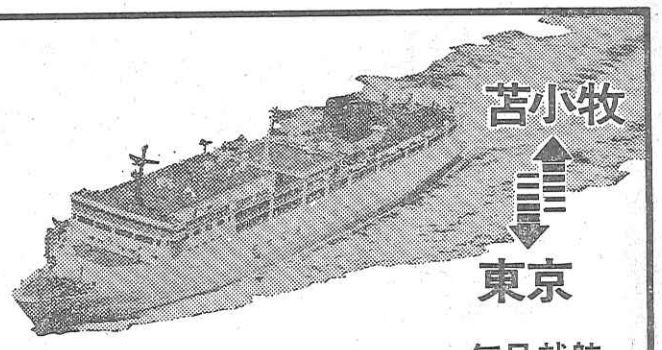
風紋

京都奈良の修学旅行から帰ってきた中学三年生の女の子と父親との会話の一コマを拾ってみる▼「おもしろかったか」「まあまあね」「どんなことが一番印象にのこったか」「薬師寺だね」「薬師寺のどんなところか」「坊さんの話だった」▼ということで、その坊さんが話した「人はそれぞれ環境がちがうけれども、どんな境遇にも負けないで、せい一ぱい努力をしよう」ということばが心にのこったとのことだ▼これは何の変哲もない訓話に過ぎないとも言えるもので、何が生徒に強い印象を与えたのか分らない。この法話?をした坊さんの話術がうまかったのか、伽藍の中での平素とちがった雰囲気がそういう効果をあげたのか、とにかくこの生徒の心に「どんな苦しい時でもせい一ぱいやり抜こう」という人生訓というか、心情が、その時重要な位置を占めたらしい▼修学旅行は、学校としてのはたらきの中で行われる教育活動ではあるが、教師と生徒の教育的関係以外に第三者的なものが、直接に教育作用の中にはいってくる。特定の事項については、これらの社会人が強い影響力をもつことがある。薬師寺の場合は、特異の例であろうが、修学旅行でできるだけ秀れた社会人からの好ましい影響をうけるよう配慮すべきことを教える▼さきの女生徒はまた「比叡山できいた慈悲とかの話は、何のことやらさっぱり分らないし、早く終ってくれればよいと思った」ともいう。抽象的な仏理はこの際適当ではあるまい。いま、物価高のそれぞれ家庭的につらい環境の中で、高校入試へ向ってかりたてられている生徒にさきの話がうけたのかも知れない▼「お話でなく見たものでは、何がよかったか」と聞いたら、言下に「薬師寺の塔がよかった。写真がほしいな？」という返事がはね返ってきた▼生徒たちのことばのはしはしから親や教師たちは何かを学びとるべきであろう。

KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅

●阪神―別府航路（毎日4便）
●阪神―小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸―日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
■お問合せは
大阪市北区宗是町1(06)441―4100/東京都中央区八重洲1-9-9(03)281―2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あっ旋案内所へ

霊峰比叡でお泊りを
■素晴らしい琵琶湖の夜景
■根本中堂で早朝の座禅
■スッキリした気分で次のコースへ

<修学旅行のお宿>
収容　1,000名様
第3別館49年7月オープン
ただいま増築しております
比叡山
延暦寺会館
ENRYAKUJI KAIKAN
0775―78―0047

■ひろがる緑の高原■そそりたつ日本アルプス連峰
■澄みきった空と湖

自然のなかのチロル風ホテル
〈修学旅行に最適〉
清風園
女神湖ホテル
長野県北佐久郡立科町芦田
TEL 026755―6006 〒384-23
案内所
■東京03―844―1710・1801■中部0587―66―2121　■名古屋052―962―0585
■大阪06―304―1024

若い時の思い出に
30時間の楽しい旅


毎日就航
日本沿海フェリー
本社／東京都港区新橋1・10・7(大和銀行新橋ビル)☎(03)573・1911
札幌支店／札幌市中央区南大通り西10・4(高橋ビル)☎(011)261・6321

修学旅行生に安眠を

東京本郷消防署　人命守る裏方さん

修学旅行の安全は教育界の悲願だ。旅館火災、交通事故、食中毒！。いずれも生命につながることばかり。さいきんは大事故も無く修学旅行が実施されているが、これも関係者が絶えずかくれた努力を続けているためでもある。しかしさらに対策を強化、事故の絶無を期して全修協や各修旅委では〝修学旅行や遠足の子どもたちを守ろう〟のキャンペーンを掲げて積極的にのり出す。先ず〝旅館の火災〟を東京・本郷に例をとってみよう。

修学旅行シーズンたけなわ、修旅生でにぎわう東京・本郷の旅館街を火災から守ろうと本郷消防署はこのところ不眠不休で監視の目を光らせている。子どもたちに楽しい旅をさせようと努力する同署は、さしずめ修学旅行の裏方さんともいえよう。

本郷地区には現在約百軒の旅館があり、このうち団体旅館は四十五軒。年間約千校、十八万人の生徒が宿泊し、シーズンにはどの旅館も超満員となる。所轄の本郷消防署はシーズン前の二月と九月に一軒ずつ旅館を査察、不備な個所を徹底的に調査して改善命令を出す。避難口の整備や消火施設ばかりでなく従業員の訓練にも重点を置いて指導する。入り込みのさかんな時期は、報告に基づいて旅館ごとの人員チェックし、署内に不寝番を置いて警戒に当る。あくまで人命尊重が最優先だ。

同署の伊藤金夫予防課長の話では、いちばん火災の危険のある時間帯は生徒たちの到着する午後五時ごろから同七時ごろだという。この時間帯は従業員が多忙なので風呂場など火元の注意が欠けるためだ。昨年、風呂場から出火し、全焼した旅館が一軒あったが、これも夕方のできごと。幸い先着の先従が数名だったので何事もなかったが、前の旅館ではすでに生徒が到着していたという例がある。就寝後は案外安心だが、こわいのはかくれて喫うタバコ。統計では相当高い率を占めているという。

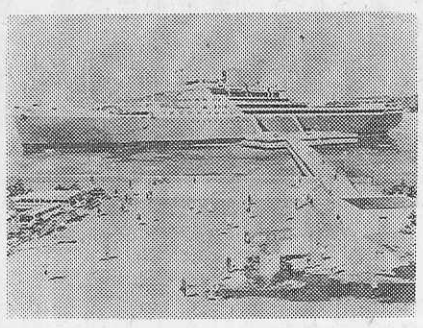
本郷旅館組合でも同署に呼応、消防隊を結成し、防災設備の完全化と従業員の訓練を行なっており、いまでは都内でも模範的な自衛組織になっているといわれる。

本郷の旅館は下宿屋から転業したものが多く、まだ木造建築が三分の一を占めるが、火災の場合、どちらが安全かは断定できないようだ。伊藤課長は「旅館火災から生徒を守るには、万全の設備、従業員の消防訓練と誘導、それに学校側の生徒指導の三点につきる」と強調している。

教職員の研修旅行

七月六日まで受付中

ことしの夏の教職員研修旅行は十三コースで実施、すでに満員のコースが続出していますが、増員などでまだ余裕のあるコースがあり七月六日まで受付けますから、学校に掲示のポスター記載の問い合わせ先きにおたずねのうえ、大至急お申込みください。



ぶらじる丸が

鳥羽で教育施設に

南米航路で二十年のあいだ、移民船として活躍した「ぶらじる丸」が、こんど〝海洋パビリオン〟として改装、三重県鳥羽市の佐田浜海岸に繋留され観光施設として七月五日から開場する。

鳥羽ぶらじる丸観光株式会社（赤坂忠次社長）が十六億五千万円を投じ、海洋コーナー、海のタイム・トンネル、古代船の原寸模型やバイキング船、ロマンと冒険時代を描く壁画など一万余トの船内いっぱいに展示するほか、レストランや遊戯場も完備しており、遠足や修学旅行の珍らしい社会教育施設として早くも人気をあつめている。入場料はおとな五百円、中高生三百五十円、小学生二百五十円で二十五名以上の団体は中高生三百円、小学生二百円。問い合わせは三重県鳥羽市鳥羽三丁八一二、鳥羽市民文化会館内、同社へ（電話五九九一丁五一四四二一）＝写真は、鳥羽ぶらじる丸の完成予想図＝

壁画の意味するもの

＝模写の一般公開に寄せて＝

網干善教

飛鳥高松塚古墳の発掘調査で、壁画の描かれていることが判明しこれが公表されて以来、この壁画をめぐって多くの意見が述べられまた、被葬者や画師についても論議が行なわれた。

ところで、壁画検出後すでに二年を経過した。そこで、もう一度基本的な問題を考えてみる必要があるのではなかろうか。

「高松塚古墳の壁画に何が描かれているか。そしてその壁画は、何を意味するか」ということが一番基本的なことであろう。

○……○

高松塚古墳の壁画には①星辰（星宿・星座ともいう）②日月③四神④群像が描かれていた。これがすべてである。このなかで星辰・日月・四神は同じ思想に基づくものであり、群像とは全く意味を異にする。すなわち、二つを意味するものが描かれていた。そして、前者が高塚松古墳壁画の主題をなすものであろうと思う。

なかでも、最も重要な意味をもつものは、天極五星・四輔四星の紫微垣と二十八宿を表現する星宿図であり、次いで、日月・四神であろう。

○……○

去る十二月十七日付の朝日新聞を、多くの人はただ無意識に読まれたかも知れないが、「天声人語」に極めて重要な記事が掲載されていた。その部分を原文のまま引用しよう。

「……▼四季を色で分けると青春、朱夏、白秋、玄冬となるそうだが…」

四神図とは何であろう。東に青竜、南に朱雀、西に白虎、北に玄武を描く。

青朱白玄、春夏秋冬、竜雀虎武、東西南北、まさしく四天王像も、五色の旗も、吹き流しも、七夕の紙の色も、仏典も、大相撲も中国風の遊びも、今に生きた思想であり、言葉である。時代が変転しようが、何千年来も受け継がれてきた東洋の思想である。

東の壁の中央に金色の日像、相対する西の壁の中央に銀色の月像東と西、金と銀、日と月、そして前述の四神図を配することの意味の重要さを考えてみる必要がある。

○……○

東、西の壁に各々男子四人、女子四人、計十六人の人物は何を描いたのであろうか。人間には必ず死がある。父母であれ、夫婦であれ、兄弟姉妹であれ、親友であれ、どんなに尊敬する人でも、愛する人でも、いつかは生死の離別に直面する。そのとき死者と生者は幽明境にしなければならない。われが現身であるからには、黄泉に逝くものに従うことはできない。

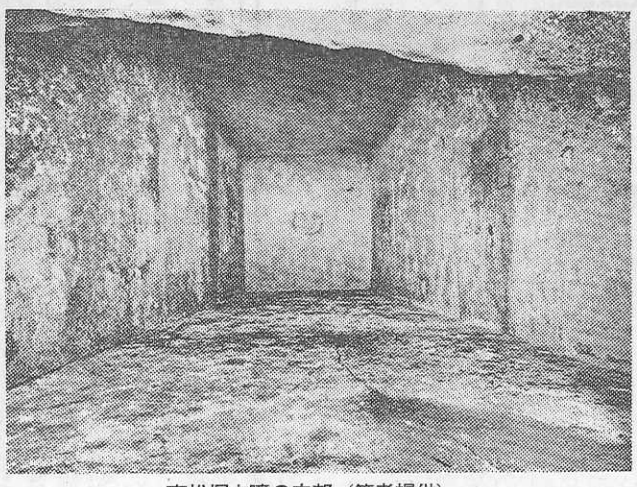
高松塚古墳の被葬者は、今、黄泉の国に旅立とうとする。その被葬者が高貴な人であれば、なおさら、かの国につきそう御供人が必要である。現身の人ではそれはできない。すると高松塚古墳の壁画に描かれた人物は、幽冥の世界における被葬者の供人であろう。壁画の人物を見て歌垣の風景だとか朝賀の儀を描いたと考えた説もあった。しかし、なぜお墓の中にそのようなものが必要なのであろうか。むしろそのようなものが描かれたとすれば滑稽といわなければならないし、常識を疑わざるを得ない。また、葬送の風景でもない。この古墳の壁画に人物を描いたことは幽明相隔てる時に臨んだ幽冥界の世界像を描いたものとみて何の不思議さもなく、矛盾もない。むしろそう理解することが極めて自然である。したがって、八人の男子は男子らしい持物を、四人の女子は女子らしい持物を持つ。それは供人だからである。

○……○

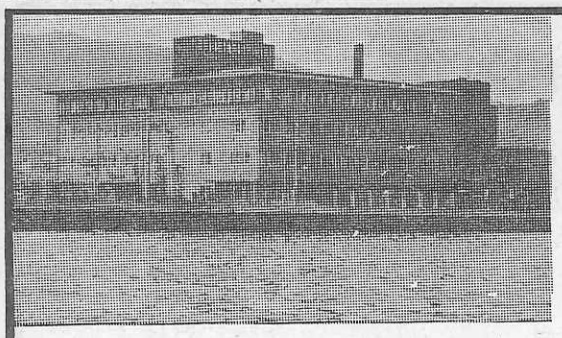
高松塚古墳の被葬者は、誰であるかはわからない。可能性は考えられても確証はない。

高松塚の壁画を見る人は、描かれた人物像の美しさだけに魅せられて、高松塚古墳への関心が寄せられてはいないだろうか。

もう一度、高松塚古墳の壁には何が描かれ、それは何を意味するかを問い直してみることが大切であると思う。（関西大学教授・奈良県立橿原考古学研究所員）



高松塚古墳の内部（筆者提供）



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

全国各地
小中高校
全90種
旅のしおり
■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。
修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5
（京都駅新幹線口の南西）
株式会社
教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。
集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された〈スズカビレッジ〉
●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞
2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
〈新近畿ルート〉をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。
鈴鹿国定公園，国鉄周遊指定地
スズカランド
鈴鹿サーキット
三重県鈴鹿市稲生町
電話＝0593〈78〉1111
本社：
東京都中央区銀座4-2-2 ☎03〈535〉6251
大阪営業所：
株式会社ホンダランド　大阪市北区南扇町15 ☎06〈313〉0841